

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金
-------------------	----------------------------------

区分	番号	名 称	
章	1	やさしさと共生するまち	
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる	
施策	2	高齢者福祉の確立	
小分類	3	介護サービスの充実	
主要な施策	5	質の高い介護サービスの展開	
事務事業番号	005	事務事業コード 13235005	事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 3 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金
------	------	------------	---------------------

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護 G
-----	-------	-------	---------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> <p>登別市介護保険事業計画(第4期・平成21年度から平成23年度)に基づき認知症高齢者グループホーム等を整備する者に対し、介護基盤緊急整備等特別対策事業費交付金(道補助金)を活用し、その整備費用の一部を補助し、費用負担の軽減を行い施設整備の促進を図る。</p>																				
手段(事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffff00;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> <p>補助額 (介護基盤緊急対策特別対策事業 交付基準額 1施設整備につき) ・認知症高齢者グループホーム 41,812千円/施設 ・小規模多機能型居宅介護事業所 41,812千円/施設 (施設開設準備経費助成特別対策事業 交付基準額 定員1人につき) ・上記施設 600千円/人</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">介護基盤 開設準備</p> <p>H22整備分 認知症高齢者グループホーム(2施設 定員27人) 83,624千円 + 16,200千円 = 99,824千円</p> <p>H23予定分 認知症高齢者グループホーム(1施設 定員18人) 41,812千円 + 10,800千円 = 52,612千円 小規模多機能型居宅介護事業所(1施設 定員9人) 41,812千円 + 5,400千円 = 47,212千円 H23年度計 83,624千円 + 16,200千円 = 99,824千円</p>																				
成果	<p style="background-color: #ffff00;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> <p>介護保険事業計画(第4期)における介護サービス目標量及び整備目標の達成。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 35%;">施設種別</td> <td style="width: 15%;">定員</td> <td style="width: 35%;">開設者(補助対象者)</td> </tr> <tr> <td>H22整備済</td> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>9人</td> <td>福)彩咲会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>18人</td> <td>医)千寿会</td> </tr> <tr> <td>H23整備予定</td> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>18人</td> <td>株)きずな</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>9人</td> <td>医)千寿会(定員は宿泊定員)</td> </tr> </table>		施設種別	定員	開設者(補助対象者)	H22整備済	認知症高齢者グループホーム	9人	福)彩咲会		認知症高齢者グループホーム	18人	医)千寿会	H23整備予定	認知症高齢者グループホーム	18人	株)きずな		小規模多機能型居宅介護事業所	9人	医)千寿会(定員は宿泊定員)
	施設種別	定員	開設者(補助対象者)																		
H22整備済	認知症高齢者グループホーム	9人	福)彩咲会																		
	認知症高齢者グループホーム	18人	医)千寿会																		
H23整備予定	認知症高齢者グループホーム	18人	株)きずな																		
	小規模多機能型居宅介護事業所	9人	医)千寿会(定員は宿泊定員)																		
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> <p>地域における公的介護施設等の計画的な整備等の促進に関する法律 介護基盤緊急整備等特別対策事業実施要綱</p>																				

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	施設整備数	施設	目標値	2	2			
			実績値	2	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称 介護基盤緊急整備等特別対策事業費交付金	千円	99,824	99,824				0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円						0
合 計			99,824	99,824	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費	職 員	千円	166	170				
	嘱 託 員	千円	0	0				
	臨時職員	千円	0	0				
	合 計		166	170				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 当該交付金の交付対象者は、民間事業者が実施する施設等整備事業に対し補助する市町村であることから。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 当補助事業を行うことにより施設整備が促進され、介護保険事業計画（第4期）における介護サービス目標量及び整備目標の達成が見込める。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 平成23年度に予定されている認知症高齢者グループホーム等の整備事業の補助を行い、介護保険事業計画における介護サービス目標量及び整備目標を達成する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 補助金（全額道補助金）のみの予算計上であり、また、人工、所要時間についても最低限の事務量となっている。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成23年度が第4期登別市介護保険事業計画における認知症高齢者グループホーム等の整備計画の最終年度であり、目標を達成するため。
------------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）